第10回ぐるっと緑道・遊歩道研究会

中川駅前商業地区の歩行者に安全な道路改善案の検討

2008年7月12日　9時30分～11時30分

中川西地区センター：和室

経過の報告

- ぐると緑道・遊歩道研究会の活動状況

2007年12月22日

「中川駅前周辺の安全・
安心なまちづくり
シンポジウム」 開催

シンポジウムの成果

1. 歩行者の安全問題は、具体的な改善方法も出てきているので、検討しているだけでなく、社会実験や暫定措置でも一歩踏み出す必要がある。
2. 地元に大学があるので、協力してもらい案を検討してもらうのも良いアイデア。
3. 地域の多くの方々に参加してもらい、巻き込んだ活動にする必要がある。
4. そのためには、安全に歩行できる回遊性のあるまち等のコンセプトでコンセンサスを得る必要がある。

2008年2月17日　研究会開催

- シンポジウム結果の検討と活動の具体化

2008年2月末　研究会広報2号発行

- シンポジウムの報告と旗の台歩車融合道路見学会開催案内

- 品川区旗の台の歩車共存道路見学会のおさそい
- 日時
  - 平成20年4月13日（日）
  - 午前10時～12時
- 主催
  - ぐるっと緑道・遊歩道研究会
- 目的
  - 中川駅周辺の安全・安心のまちづくりのために、参考となる旗の台歩車共存道路を見学します。
- スケジュール
  - 洗足駅（10時）→旗の台歩車共存道路見学→旗の台文化センターにて意見交換。
  - 小場瀬令二先生（筑波大学教授安全街区研究）のご案内、ご解説で、現場を見学して、中川商業地区の歩行者にとって安全な道路を考えます。
- [同行者]
  - 内海　宏先生、室田昌子先生
  - 横浜市　都市整備局　地域まちづくり課
  - 都筑区　区政推進課
  - 都筑土木事務所　職員

2008年4月13日　旗の台　歩車融合道路見学会開催

- 見学を参考にしながら、A地区の対策を検討し、3案を考えた。

- 基本は
  ①通過交通を減らす。
  ②歩行者の安全対策を講じる。

A地区対策の3案

1案 （歩車融合道路）

道路をカラー化し歩行者優先とし、車は低速（例えば5Km以下）の制限速度にする。

歩く商店街道路のイメージ。

2案 （歩行者空間を作り歩車分離）

トヨタ側にメガネスーパーまでの色区分した歩行者空間を作ることにより歩車分離を図り、併せて車道を狭くしたことによる車のスピード低下を図る。

この案は低コスト、トライアルの簡単さ、将来変更の容易さ、合意の得やすさ、警察の認可の得やすさがある。

3案 （一方通行）

歩道の確保の点からは良いが、合意形成に難点。

2008年5月12日　研究会開催
―今年度の活動計画検討―

A地区改善案の検討と社会実験

実験内容：1.5mの歩行者空間（又は2mの歩行者空間）を作るとどうなるか

調査内容：ビデオを回す、通行人へのアンケート

実施時期：社会実験は9月くらいか？　早められたら早いほうが良い

※A地区改善案と社会実験に関して土木事務所、警察との具体的な打合せ実施

2008年6月9日
―都筑警察署との打ち合わせ―

- 社会実験は道路管理者の土木事務所が主体となる必要がある

- 車の相互通行を考えると、車道は最低4.5mが必要。→歩道は1.5m

- 横断歩道前の車の一時停止は、車の交差点のみに設置可能であり、遊歩道との交差点には付けられない

2008年6月13日
―都筑区土木事務所長との打合せ―

- 社会実験としてではなく、歩車分離の白線を引く

- その結果を見て、横浜市が安全対策として推進している「道路のカラー化」を早期に実施し、歩車区分の明確化し、歩行者の安全を図る

- 遊歩道から車道への自転車飛び出し防止工事も実施可能

2008年6月14日
ー武蔵工大室田研究室との打合せー

- A地区の改善を卒論の研究テーマにする
- 改善の効果測定と評価

2008年6月末　研究会広報3号発行
中川駅前商業地区の安全な道路研究会のおさそい

- **日　時**:
  - 平成２０年７月１２日（土）　午前９時半から１１時半
- **場　所**:
  - 　中川西地区センター　２階和室
- **内　容**:
  - 中川駅前商業地区の歩行者に安全な道路改善案の検討
- **主　催**:
  - ぐるっと緑道・遊歩道研究会

- 町内会
  - （中川西、牛久保西、牛久保）
- 自治会
  - （ガーデンヒルズ、サントゥール中川、ウエストエミネンス）
- 学校、商店街、マンションに配布し

※安全対策案の周知、意見の聴取を開始

2008年7月2日
ーヤマダ電気（株）港北店への説明ー

改善案にはコメントは特に無いが、

L字カーブへのコメントは以下の通り

- カーブ部にはミラーを検討してはどうか。
  以前自分から役所？に要望したが、L字コーナーには設置できないと却下されている。
- コーナー部の駐車はすぐやめてもよい。
  車は屋内に置ける。
- 植栽部分はビルオーナーの了解がないと変更できない。
  了解があれば短くする剪定ならこちらでできる。

2008年7月10日

横浜トヨペット（株）と研究会／横浜市で協議実施

- ビークルステーション中川の南側道路を歩行者の安全を図る為にと車を分離する歩行者空間カラー化を予定しています。しかしながら、この措置によって確保される歩道部分が非常に狭く、何とか拡幅をさせ安全の確保を図りたいと考えています。
  そこで、この道路に隣接した貴社敷地の芝生部分を横浜市に土地使用許可を出していただき、横浜市が歩道を拡張することにご協力願いたい。
- 横浜トヨペットは検討を約束。

2008年7月12日　研究会開催

―中川駅前商業地区の安全な道路研究会のおさそい―

- 目的
  - 中川駅前商業地区の歩行者に安全な道路改善案の検討

道路改善案の説明と意見交換

イ）全体概要

ロ）路肩の歩車区別化

ハ）中央遊歩道の横断歩道安全化

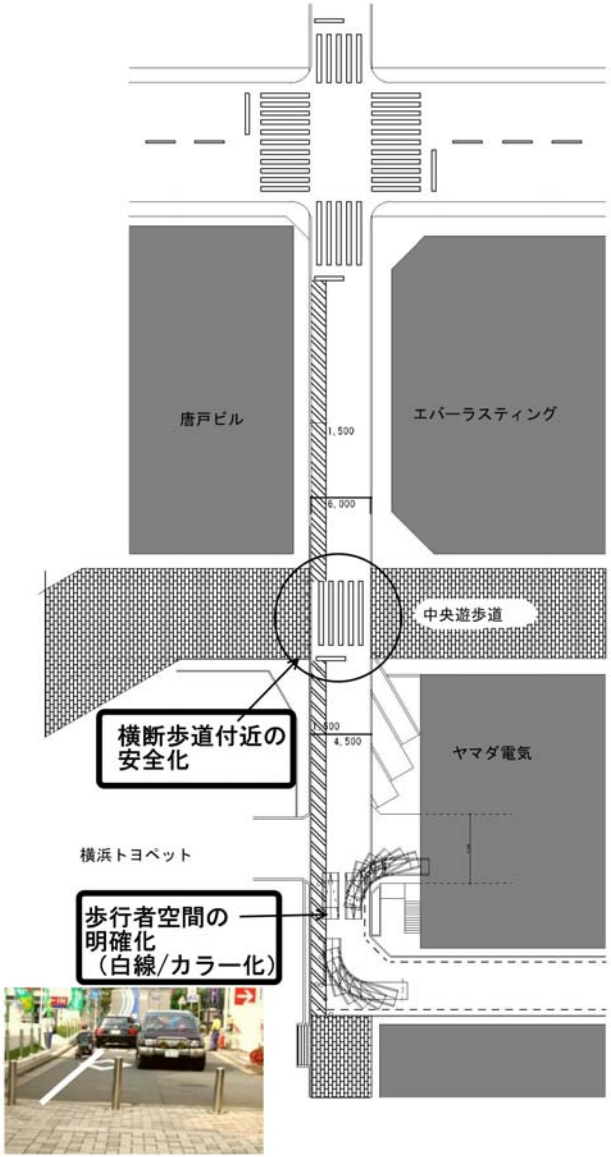
・西小PTAからの提案

・その他

二）今後のスケジュール

ホ）改善の評価計画　（室田先生）

路肩の歩車区別化


唐戸ビル
エバーラスティング
中央遊歩道
横断歩道付近の
安全化
ヤマダ電気
横浜トヨペット
歩行者空間の
明確化
（白線/カラー化）

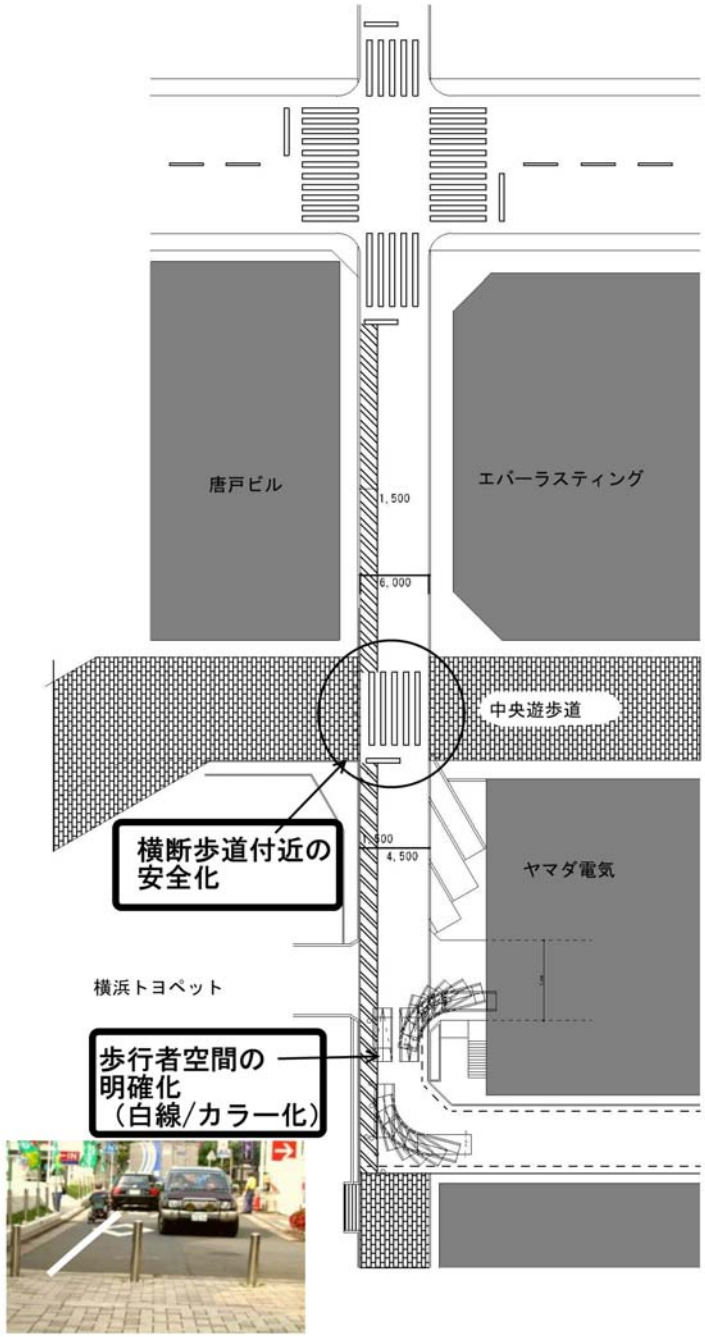
YAMADA
P
IN

（1）第1ステップ

横浜トヨペット側路肩に1.5mの白線を引き、歩行者空間を作ることより歩車分離を図る。

そして、効果の確認を武蔵工大の協力により検証する。

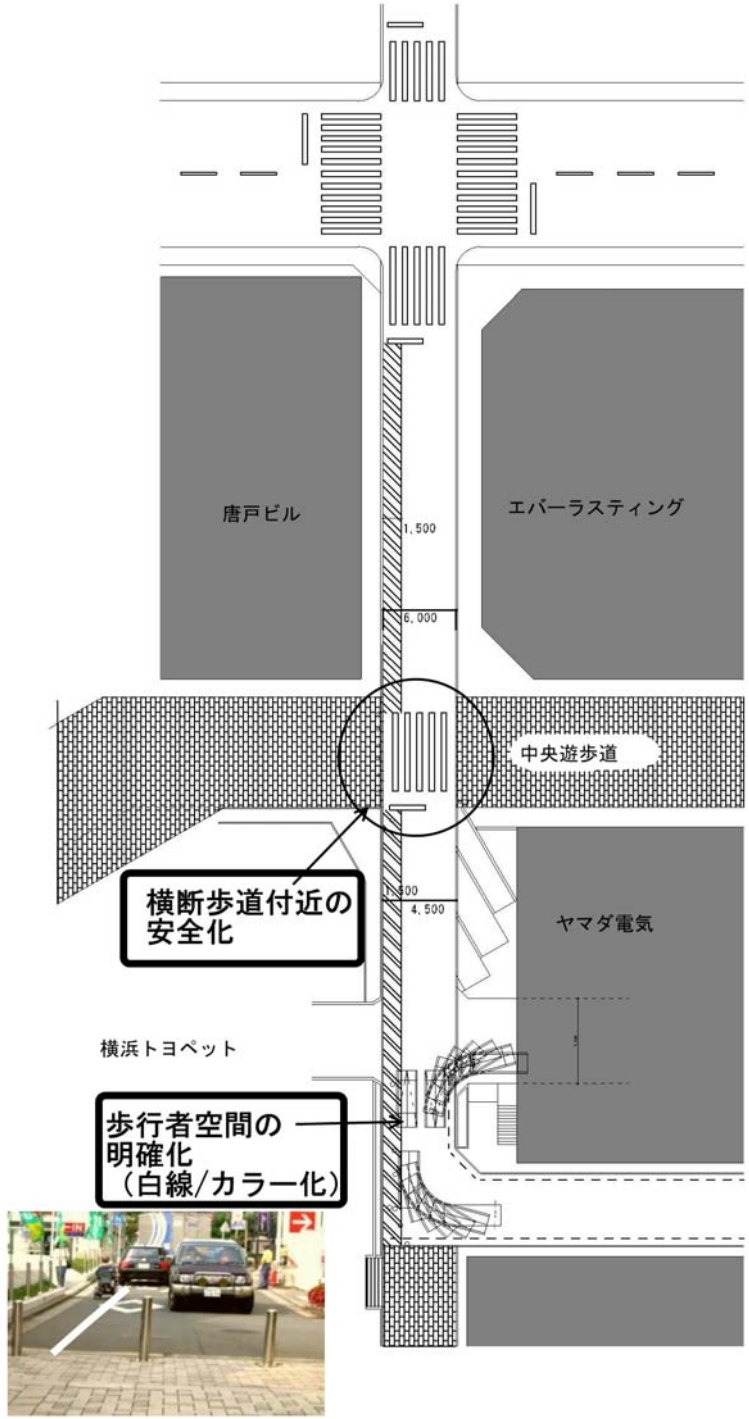
併せて、歩行者空間の拡幅を検討する。



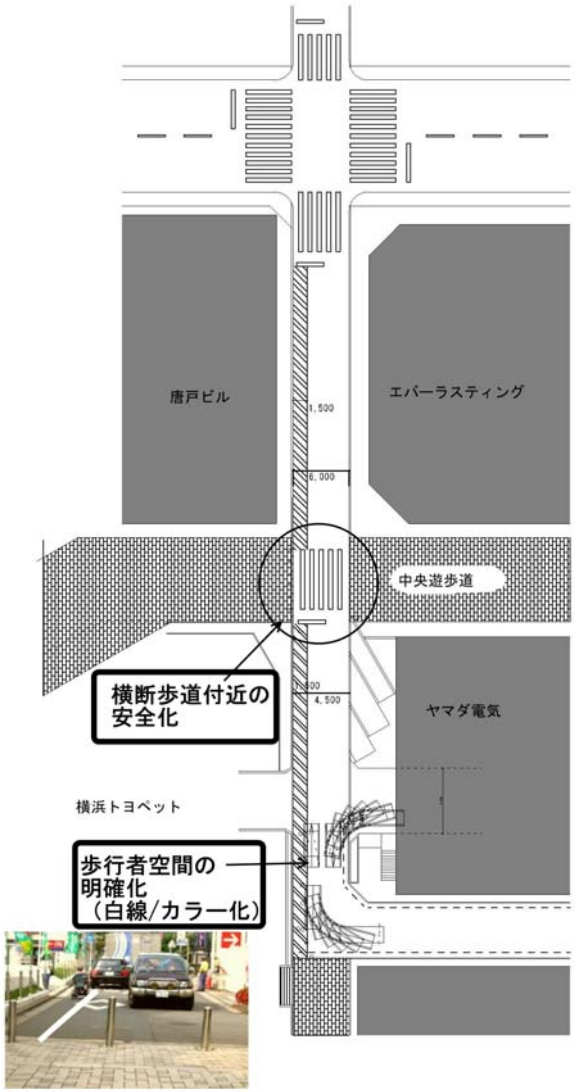
（2）第2ステップ

横浜トヨペット側路肩歩行者空間をカラー化し、歩行者と車の識別しやすい分離を目指す

とともに、車の減速、横断歩道付近のカラー化等により、横断歩道付近の安全を確保する。



ハ）中央遊歩道の横断歩道安全化
・西小PTAからの提案



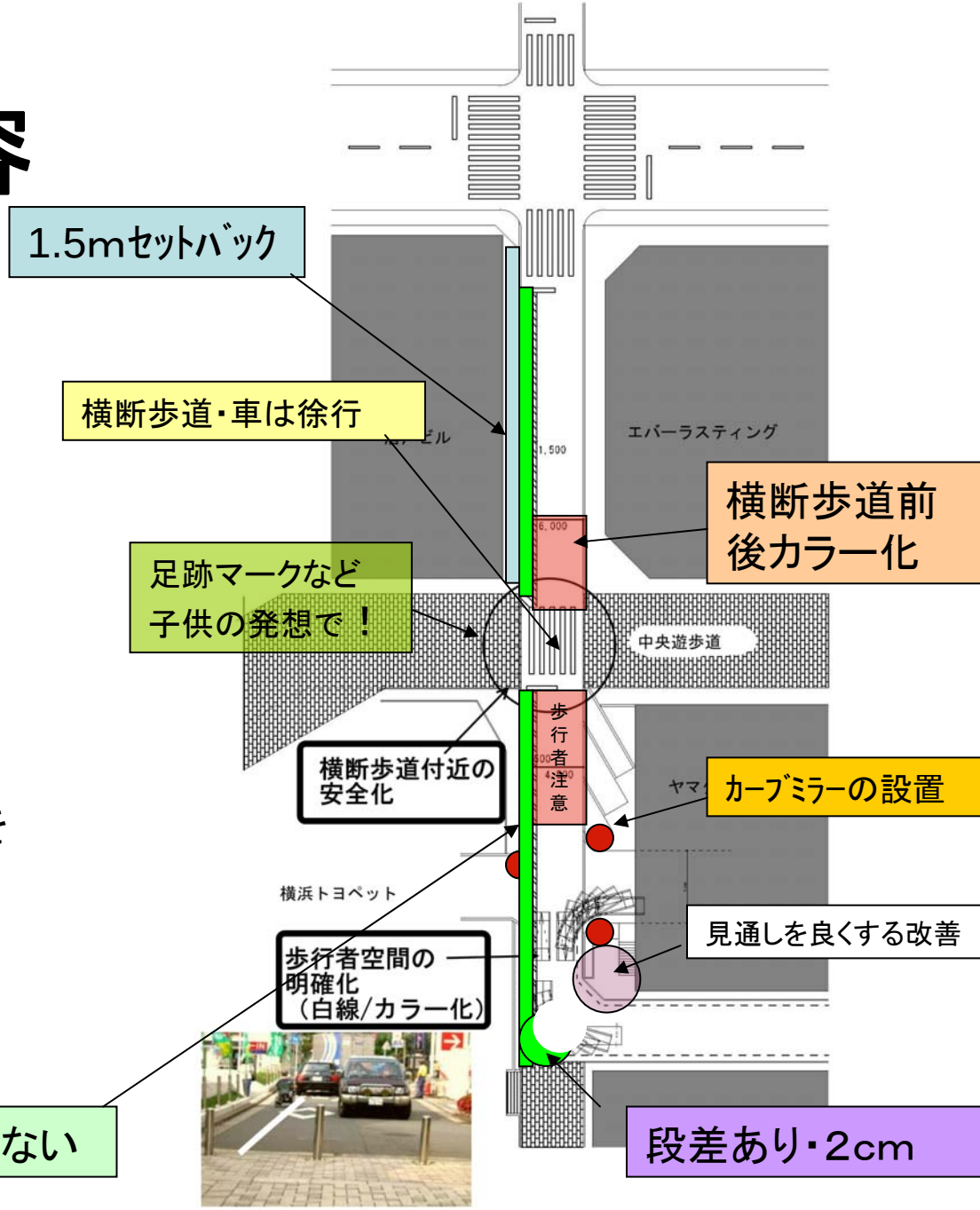
議論の内容

・障がい者施設の意見も

・段差解消を

・意識の普及改善

・歩行者と運転者の効果測定を



・道路交通法の歩道ではない

ホ）改善の評価計画　（室田先生）

- 中川駅周辺の道路空間における安全性（仮称）
- 歩行者空間の実験と駅周辺の車道に焦点
- 調査方法・・・ライン引きの前後調査
  - 交通実態調査・・・カウントや観察（ﾋﾞﾃﾞｵ撮影）
    - 交通量調査（交通量の把握・錯綜状況：歩行者との関係）
    - 交通状況（スピード：減速状況目視・方向）
  - 意識調査・・・ラインとペイントの施工に伴う効果測定
    - 歩行者アンケート時に自動車利用状況も把握
    - ヤマダ電機・・・利用者はほとんどが車

まとめと次回予定

- 白線の施工
  - 室田研究室の事前調査（夏休み前に実施）後に実施する（塩入さんから土木事務所へ連絡）
- 次回の予定
  - ９月７日（日）　13時～１５時
  - 中間報告
  - 評価と今後の進め方
  - 第2ステップへ